

会 議 録

会議の名称	令和6年第2回本庄市教育委員会定例会
開催日時	令和6年2月9日（金） 午後2時30分から 午後4時20分まで
開催場所	委員室
出席者	<p>○教育長・委員</p> <p>下野戸陽子 教育長</p> <p>岡崎吉宏 教育長職務代理者</p> <p>落合崇志 委員</p> <p>今井邦枝 委員</p> <p>高橋公男 委員</p> <p>○教育長・委員以外の出席者</p> <p>笠原栄作 教育委員会事務局長</p> <p>武政和也 参事</p> <p>新井照美 教育総務課長</p> <p>岡芹純一 学校教育課長</p> <p>原道広 生涯学習課長</p> <p>折茂勝彦 文化財保護課長</p> <p>塩原利春 スポーツ推進課長</p> <p>中村忍 図書館長</p> <p>柳貴章 教育総務課長補佐（事務局）</p>
次 第	<p style="text-align: center;">令和6年第2回本庄市教育委員会定例会 議事日程</p> <p style="text-align: center;">令和6年2月9日（金）</p> <p style="text-align: center;">午後2時30分開議 委員室</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 前回会議録の承認 3. 会議議事録署名人の指名 4. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本庄市育英資金の貸付について（議案第3号） (2) 本庄市教育振興基金条例の一部を改正する条例（議案第4号） (3) 令和5年度本庄市教育予算補正（3月）について（議案第5号） (4) 令和6年度本庄市教育予算について（議案第6号） 5. 教育長の報告 6. その他 7. 閉 会

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和6年第2回本庄市教育委員会定例会議案」 ・「令和6年第2回本庄市教育委員会定例会議案関係資料」 ・「議案第3号 別紙 本庄市育英資金の貸付について」 ・「本庄市教育振興基金条例新旧対照表」 ・「別紙 令和6年度本庄市教育予算（歳入）」 ・「別紙 令和6年度本庄市教育予算（歳出）」 ・「教育長の報告 行動記録」 ・「学校教育課 本庄市小中一貫教育の基本的な考え方（案）」 ・「生涯学習課 令和6年第2回本庄市教育委員会定例会 ー今後の事業予定ー」
主管課	教育総務課

会議の経過	
教育長	<p>ただいまから、令和6年第2回本庄市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>それでは、議事日程に従いまして進めてまいります。</p> <p>まず、前回会議録の承認をお願いします。</p>
事務局	<p>前回開催されました定例会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様様に配付させていただき、ご確認いただいております。特に異議等は、ございませんでしたので、承認されております。</p>
教育長	<p>続きまして、本日の会議録の署名人を指名させていただきます。</p> <p>本日は、落合委員にお願いいたします。</p> <p>次に、議事日程4の「議事」へ入ります。</p> <p>本日の付議事件は、お手元に配付しましたとおり、議案4件でございますが、議案第3号については、申請者の個人情報を含む貸付金額、所得審査情報等を審議しなければならないため、また、議案第4号から第6号については、令和6年本庄市議会第1回定例会への提出案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により非公開としたいと思います。</p> <p>これに、ご異議ございませんか。</p>
教育委員	異議なし
教育長	<p>異議がありませんので、議案第3号から第6号の審議については、非公開といたします。</p> <p>なお、非公開議案の審議につきましては、議事の進行上、議事日程6の「その他」が終了した後に、非公開会議として、審議を進めたいと思います。</p> <p>それでは、議事日程5「教育長の報告」へ移ります。「行動記録」をご覧ください。</p>

	<p>前回の定例会以降の行動記録について、別紙のとおり報告させていただきます。</p> <p>主だったところについて説明させていただきます。</p> <p>1月31日、2月1日、2日に人事評価に係る校長との面談を行いました。今年度の取組についての評価を聞き意見交換、指導を行いました。</p> <p>7日には、児玉地区教育委員会連合会第2回研修会が神川町役場にて行われました。</p> <p>「教育委員会における広報の役割と取り組み方」と題した講演を聞き、研修を深めました。</p> <p>8日には本庄上里学校給食組合教育委員会第1回定例会が開催され、令和6年度予算関係1件と人事案件1件が上程され慎重審議の結果、原案の通り可決されました。</p> <p>行動記録については以上です。</p>
<p>新井教育総務課長</p>	<p>教育総務課から今後の会議日程について、ご報告いたします。</p> <p>前回の定例会で今後のスケジュールを説明いたしましたが、2月22日(木)午後3時から、市役所委員室で臨時会を開催いたします。</p> <p>次に、第3回定例会ですが、3月25日(月)午後2時30分から、市役所委員室で開催いたします。</p> <p>教育総務課は以上です。</p>
<p>原生涯学習課長</p>	<p>それでは、生涯学習課から3点、今後の事業予定について報告いたします。</p> <p>右上に、生涯学習課とあるA4資料をご覧ください。</p> <p>1点目ですが、本庄市子ども会育成会連合会主催の「はがき作品展」の開催について報告いたします。</p> <p>令和6年2月24日から3月1日まで、はにぽんプラザを会場に開催予定です。</p> <p>今年度は、「私が好きな本庄の名所・名物」をテーマとして、市内の小学校に応募依頼し、1,670点の応募がありました。</p> <p>表彰式は、3月2日(土)10時から執り行う予定です。</p> <p>2点目ですが「令和5年度市民総合大学閉講式と生涯学習推進大会」を、3月9日(土)に本庄市民文化会館ホールで開催いたします。</p> <p>市民総合大学閉講式の後、行われます「生涯学習推進大会・生涯学習講座」では、NHKの「歴史探偵」や日本テレビの「世界一受けたい授業」などに出演し、活躍されている歴史作家の河合敦先生をお招きし、「塙保己一と渋沢栄一」をテーマに講演していただく予定です。</p> <p>またとない機会ですので、是非、委員の皆さまをはじめ、多くの方にご来場いただきたいと思います。</p> <p>最後に3点目ですが、本庄市民文化会館のネーミングライツパートナーについて、ご報告いたします。</p>

	<p>ネーミングライツパートナーについては、株式会社グローバルソフトウェアでございます。</p> <p>愛称は「グローバルソフトウェア本庄文化ホール」で、契約期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間、ネーミングライツ料は税込で年額99万円です。</p> <p>生涯学習課からは以上です。</p>
<p>岡芹学校教育課長</p>	<p>学校教育課から1件、本庄市小中一貫教育の基本的な考え方（案）について報告いたします。</p> <p>別紙、右上に学校教育課と記載してあります、A3の紙をご覧ください。概要をご説明いたします。</p> <p>はじめに、本市では、令和5年度に策定した本庄市教育大綱において、「自らの人生を切り拓き自立できる子どもたち」の育成を目指し、「確かな学力と自立する力」、「豊かな心と健やかな体」を育む教育を進めており、その手法の一つのとして、小中学校が連携し、9年間を見通した教育に取り組んでいます。</p> <p>この基本的な考え方は、これまで取り組んできた小中連携教育をさらに進め、小中一貫教育を推進するために示すものです。</p> <p>大きな1番「基本的な考え方策定の背景及び目的」をご覧ください。</p> <p>本市ではこれまで、様々な形で小中連携教育を行っており、一定の成果を上げてきました。</p> <p>一方で、いわゆる「中1ギャップ」によって学校生活への不適應を起している生徒が本市においても増加傾向にあり、その未然防止や解消が喫緊の課題となっています。</p> <p>この課題を解決するためには、これまでの小中連携教育をさらに進め、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育を推進していくことが重要であると考えています。</p> <p>本市にふさわしい小中一貫教育についての基本的な考えを示すことを目的に策定するものです。</p> <p>大きな2番「本庄市の小中一貫教育」をご覧ください。</p> <p>中学3年生が卒業するときの目標とする姿、即ち「目指す15歳像」を「自らの人生を切り拓き自立できる子どもたち」とし、その実現に向け、児童生徒の「確かな学力と自立する力」、「豊かな心と健やかな体」を育成することを目的としております。</p> <p>3ページ（2）の取組方針ですが、まず、それぞれの中学校区の小中学校で「目指す15歳像」、知・徳・体における小中共同目標を設定・共有し、9年間一貫した教育課程を編成して系統的・連続的な教育を行います。</p> <p>また、「確かな学力と自立する力」、「豊かな心と健やかな体」の育成に向け、中学校区の小中学校ごとに抱える課題を共有し、下に示した例をもとに具体</p>

	<p>的な取組を行います。</p> <p>(3)の期待される教育効果として、5点を挙げました。</p> <p>4ページの(4)小中一貫教育を推進する学校として、本市ではすべての中学校区で、小中一貫教育を進めてまいります。</p> <p>最後に、大きな3番「今後の流れ」をご覧ください。</p> <p>令和6年度に、教育委員会では、小中一貫教育推進準備委員会を設置し、本庄市小中一貫教育基本方針の策定、理念等の周知を行います。</p> <p>各中学校区においては、推進委員会を設置し、中学校区ごとの目標設定や、具体的な取組についての協議を行うなどし、令和7年度より、できるところから順次進めていく予定です。</p> <p>教育委員の皆様よりご意見をちょうだいし、この基本的な考え方をまとめていきたいと考えております。</p> <p>ご多用のところ恐縮ですが、2月16日(金)までにご意見等がございましたら学校教育課あてにメールでいただければ幸いです。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
教 育 長	<p>今まで何点か説明がございましたが、何か質問はございますでしょうか。</p>
岡 崎 委 員	<p>小中一貫校について、具体的には連携をどのように変えていくということでしょうか。例えば、この東中区域の中で、東小、藤田小、仁手小というくくりの中で学校施設については今後考えていくのでしょうか、連携の仕方をどう変えていくということなののでしょうか。</p>
岡 芹 学 校 教 育 課 長	<p>今までは、小学校は小学校で目指す児童像、中学校は中学校の3年間で目指す生徒像が別個にあるような状況でございました。それを一貫教育にすることによって9年間を見通した、共有、共通した目標、児童像・生徒像をしっかりと作りまして、それに向けてやっていこうというものです。</p> <p>施設等を大きく変えることは、今のところないのですが、大きく変えるところは目的を一つにする、目指す児童生徒像を一つにするということがございます。</p>
岡 崎 委 員	<p>そうすると15歳の時の理想像からブレイクダウンしていくイメージということでしょうか。</p>
岡 芹 学 校 教 育 課 長	<p>はい。そのとおりです。</p>
教 育 長	<p>実際に何かハード面で変わるものがあるのかというと、すぐすぐ変わるものはないのですが、今までの小中連携というと、一番目立つのは小学校6年生から中学校に行く際に部活動の見学ですとか授業の見学などは行ってきたのですが、今度は低学年から中学校を意識した連携を目指すということですね。</p> <p>それは、子どもたちというより先生たちが意識することになるのでしょうかけれども、今まではどうしても中学校は中学校の3年間だけをみて、小学校</p>

	<p>は小学校の6年間だけを見ての指導になっていました。</p> <p>それを、小学校はもう少し先を見て、低学年の時から意識しての指導、中学校は小学校の低学年の時からこのように育ってきたんだという意識を持ってもらうということです。</p> <p>前にも言ったのですが、実際に小学校で教えるには、中学校の先生は自分の担当教科の資格が無いと教えることはできません。</p> <p>小学校の先生と中学校の先生の交流で教え合えればいいかなとは思っていますが、なかなか難しいです。</p> <p>どうしても小学校と中学校の両方の教員資格を持った先生は少ないので。</p> <p>ただ、数学の資格を持った先生は算数を教えることはできるので、そういったところから少しずつ交流ができれば良いのかなと思っています。</p>
落合委員	<p>今まで独立して行っていたことを、小学校の6年間、中学校の3年間のカリキュラムを一貫して見ていくということだと思うのですが、こうすることによるデメリットはないのでしょうか。予測性として。</p> <p>後一つ、同様の事例を行っているところはあるのでしょうか。</p> <p>私立ではあるのですが、公立でこのようなことを行っている先進地はあるのでしょうか。先進事例を調査、研究、検討してこの案を作成したのでしょうか。</p>
岡芹学校教育課長	<p>先進なところ、日高市や飯能市には視察に行かせていただきました。</p> <p>ただそこはですね、小中一貫教育よりも進んでいるところでして、小学生も中学生も同じ施設にいて、学年もバラバラで活動している義務教育学校でした。</p> <p>そこを拝見させてもらい、一貫の良さを感じ、お話も伺ってきました。</p> <p>現在、今のところ本市で考えているのは、小学校は小学校、中学校は中学校そのまま目標・目的を一つにしてお互いの良いところを吸収し合い、学年などをバラバラにすることなどは考えておりません。</p> <p>また、予測されるデメリットは、先ほど教育長の説明にもありましたが、教職員の行き来ができないかなと思っています。</p> <p>一方、メリットは小学校6年間でぶつ切りにならないので、小学校の教員は中学校の残り3年間を見据えて、継続して指導できるという意識を強化できていると思っています。</p> <p>また、小学校と中学校が教員を含めて交流が進むことにより、小学校6年生が中学校に上がる時に安心して、不安なく登校できるのではないかと考えております。</p>
落合委員	<p>この取組により、データ化がより進むと思うので、データの取り扱いにはプロテクトをして、十分に注意してほしいと思います。</p>
岡芹学校教育課長	<p>いただいたご意見を参考にして、しっかりと取り組んでいきたいと思いません。</p>

今井委員	重複した質問になってしまうかもしれませんが、教育課程を一つにするということですかね。
岡芹学校教育課長	いえ、教育課程を大きく変更することは今のところ考えておりません。
今井委員	そうすると、各学校にある独自の教育課程に一つ新たに追加するというのでしょうか。
岡芹学校教育課長	もう一つ追加するというのではなく、簡潔に申し上げますと小学校と中学校の教育課程をお互いによく知り合うということですかね。 今まで、正直なところお互いの教育課程のことをよく知らなかったんだと思います。そこを、連携を深めることで、いわゆる系統性というものを、小学校で6年間学んでくるとこういった力がついてくるんだねというようなことを中学校の教員には知ってもらいたいと考えております。 ですので、教育課程を大きく変更することは今のところ考えておりません。
教育長	他に何かございますか。
教育委員	質疑なし
教育長	この件につきましては、回答期日が短くて恐縮ですが、2月16日までにいただければと思います。よろしくお願ひします。 それでは、先ほど、教育総務課長から説明がありましたが、2月臨時会及び3月定例会の日程を改めて確認いたします。 令和6年第1回臨時会を2月22日（木）午後3時から、第3回定例会を3月25日（月）午後2時30分から、場所は両日とも、市役所委員室で開催いたします。 皆さまご都合は宜しいでしょうか。
教育委員	異議なし
教育長	これで、公開での会議を終了します。 これより、非公開で議事を進めます。
	[非公開] 議案第3号 本庄市教育振興基金の貸付について《承認》 議案第4号 本庄市教育振興基金条例の一部を改正する条例《承認》 議案第5号 令和5年度本庄市教育予算（3月）について《承認》 議案第6号 令和6年度本庄市教育予算について《承認》
教育長	以上で令和6年第2回本庄市教育委員会定例会を閉会いたします。

以上のとおり、会議次第を記載して相違ないことを証するためここに署名する。

本庄市教育委員会教育長

下野戸 陽子

本庄市教育委員会委員

藤合 崇志

書 記

柳 貴章